

耐候性鋼橋梁の診断技術

2012年1月23日～2017年10月19日まで
NETIS（新技術情報提供システム）に登録※1

RST法（イオン透過抵抗測定法）



耐候性鋼橋梁の

- ・保護性さび診断
- ・異常さびの診断
- ・さび状態のモニタリング

ができる定量的な診断技術



【特徴】

- さびの状態(正常, 異常)の定量的な診断が可能
- 測定時間が短く、1日で多くの測定が可能
- 非破壊で測定が可能

※1) 公知実績より登録終了。



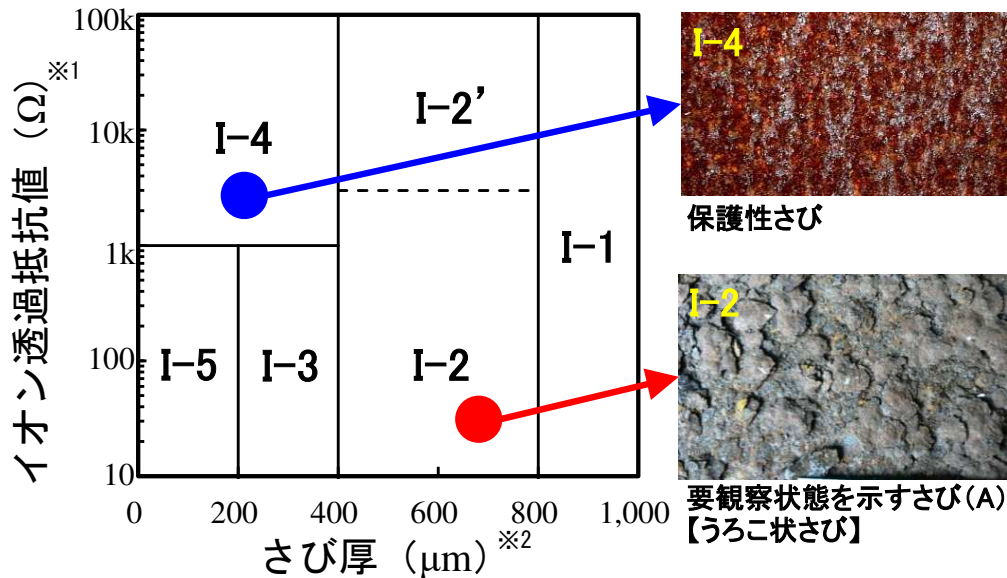
NIPPON STEEL

日鉄防食

日鉄防食の信頼性に優れた定量的な診断技術

イオン透過抵抗とさび・被膜厚の関係から、さび・被膜状態を定量的に診断

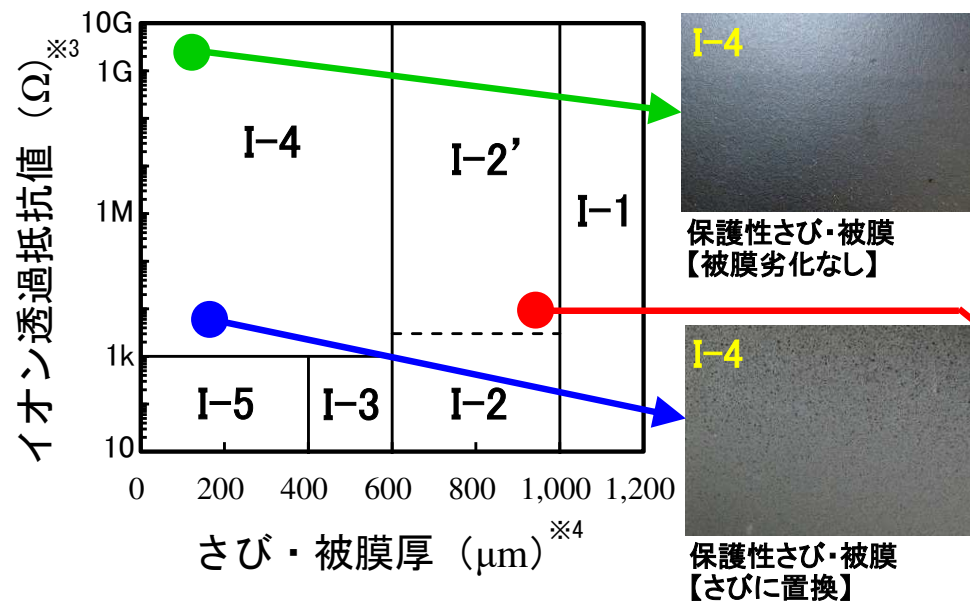
● 耐候性鋼橋梁（裸使用）の診断例



- I 評点
- I-5 初期さび・未成長さび(A)
 - I-4 保護性さび
 - I-3 未成長さび(B)
 - I-2 要観察状態を示すさび(A)
 - I-2' 要観察状態を示すさび(B)
 - I-1 異常を示すさび

※1 イオン透過抵抗値は、イオン透過抵抗測定装置を用いて計測します。
 ※2 さび厚は、電磁膜厚計を用いて計測します。

● 耐候性鋼橋梁（さび安定化補助処理）の診断例



- I 評点
- I-5 未成長さび・被膜(A)
 - I-4 保護性さび・被膜
 - I-3 未成長さび・被膜(B)
 - I-2 要観察状態を示すさび・被膜(A)
 - I-2' 要観察状態を示すさび・被膜(B)
 - I-1 異常を示すさび・被膜

※3 イオン透過抵抗値は、イオン透過抵抗測定装置を用いて計測します。
 ※4 さび・被膜厚は、電磁膜厚計を用いて計測します。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

日鉄防食株式会社

〒136-0072 東京都江東区大島三丁目7番17号

【お問い合わせ先】
 エンジニアリング事業部
 防食調査部
 調査・診断グループ

Tel:03-5858-6127 Fax:03-5628-3655